



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行1月10日 No197

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ

新年あけまして おめでとうございます



61/1月号

飼育技術の向上を めぐって品評会

調和のとれた住みよい 町づくりをめざして



町長 桑畑 三夫

新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素から皆様方には、町勢発展に深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

ところで我が国の経済は、景気の持続拡大、対外経済摩擦、内需拡大など厳しい環境にあります。

そのようななかで財政改革をはじめ、教育、税制、社会保障制度など諸改革が論議されてきました。

こうした国内外の厳しい状況を踏まえ、本町といたしましては、今年も健全財政を堅持しながら、総合計画に基づく重点施策をはじめ、町民生活に直結する施策事業を強力に推進してまいります。

昨年は、三股中体育館の改築事業をはじめ、農業基盤整備で農道と用排水路の整備、田上多目的集会施設の建設、コミュニティ事業で山王原中央通りの防犯灯設置、唐橋住宅の建設、新馬場郡元線街路事業の全線完工など、住民福祉の向上に積極的に取り組み、今春には、すべての事業が完成の予定であります。

今年も、過去の経験を生かしながら「住みよい豊かな町づくり」に懸命の努力をいたす所存であります。

まず教育施設の充実を図るため、三股小分離校の用地取得と、三股中学校増築を進めたいと考えております。

これは、町の将来を担う児童・生徒の健全な成長には、欠くことのない問題と、考えておりますので全力を傾ける覚悟であります。

更に、生活環境の整備、農畜産業の生産基盤の整備、生涯にわたる福祉対策、商工業の安定化など、諸事業全般にわたる皆様方のご要望や、建設的なご意見を拝聴しながら最善の努力をいたす所存であります。

私は「対話と協調」を基調とし

その結果県下町村で四番目の伸び率を示しておりますのも、その事業効果の現れと考える次第であります。

反面過疎化に悩む町内山間部に對しては、議決機関と理事者と連携し、地域の活性化のため、さらに努力を重ねてまいります。

本年も、三股小分離に伴う新校設立予定用地の取得、さらには環境整備事業等行政需要は山積いたしております。

私も議決機関といたしましては、皆様のご期待にこたえるため、町民一人一人の気持ちを大事に、最大の努力を払い、一歩一歩確実に、精進いたさなければいけないと決意を新たにいたしております。

なにとぞ本年も相変らぬご支援、ご協力をお願い申しあげ皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申しあげ年頭のあいさつといたします。



議長 山元 忠博

年頭にあたって

昭和六十一年の年の始めにあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

輝かしい新春を町民の皆様と共に迎え、新春を寿ぎ、あわせて三股町の限りなき進展をお祝いできますことは、私も議員一同心から喜びとするところであります。

私も、毎年のことながら年の改まるたび町民の福祉の向上、生活の安定そして三股町の発展をお互い堅い信念のもとに誓いあっておりますが、まだまだご期待に添えない点があるのではないかと考えております。

昨年十月一日に行われました国勢調査の結果も概数が発表され、

昨年十月一日に行われました国勢調査の結果も概数が発表され、



工事も順調に進む三股中体育館工事

て、町民福祉の向上と町政発展のために、全精力を傾注し躍進の年にすべく決意を新たにいたしております。なにとぞ今年も旧年に倍して相変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに、この新しい年が皆様方にとりまして、最良の年となりますように心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



整備される勝岡蓼池線



完成間近の田上多目的集会施設

昭和六十一年度 保育所(園) 入所のご案内

昭和六十一年度(六十一年四月入所)の保育所(園)入所の申し込みの受け付けを下記のとおりに行います。

- (一) 保育所(園)入所申請書は、一月六日(月)以降、各保育所(園)か、役場福祉生活課に用意してあります。なるべく希望される保育所(園)で受取ってください。
- (二) 入所申請書の受け付けは、一月二十日(月)から二十八日(火)まで、役場二階大会議室で行います。

尚、書類不備な方、あるいは受付日に来所困難な方は、一月二十九日(水)から三十一日(金)まで、(午前九時から午後四時まで)役場福祉生活課で受け付けます。

◎ 保育所(園)は、その児童の保護者、特に母親が就労・疾病・病人等の看護を日中常態として、かつ同居者がその児童の保育にあたることのできない場合、保護者にかわって日々保育する児童福祉施設です。

◎保育所(園)一覧表

保育所名	所在地	定員	年齢区分 (昭和61年4月1日現在)
三股中央	新来	90	1才~5才
三股かぼこ	中勝	90	1才~5才
三股さすわ	勝宮	60	1才~5才
三股ひまわり	山王	60	3ヶ月~5才
三股くまのり	山王	45	1才~5才
三股みどり	山王	90	3ヶ月~5才
三股みどり	山王	90	1才~5才
三股みどり	山王	60	3ヶ月~5才
三股みどり	山王	60	3ヶ月~5才
三股みどり	山王	30	3才~5才

◎受付日程表

地区名	受付(面接)月日(曜)	時 間	受付(面接)場所	
第1地区	昭和61年1月20日(月)	9時~16時	三股町役場	
第2・3地区	昭和61年1月21日(火)			
第4・5地区	昭和61年1月22日(水)			
第6地区	昭和61年1月23日(木)			
第7地区	昭和61年1月24日(金)			
第8地区	昭和61年1月27日(月)			大会議室
第9地区	昭和61年1月28日(火)			

謹んで新春の 御祝詞を申し上げます

皆様のご多幸とご健勝を
心からお祈り申し上げます
昭和61年 元旦



三股町議会議員一同



鶴田 任男



下沖 秀行



轟木 次男



野口 英治



山領 征男



有村 三千男



尾崎 秀行



佐沢 和彦



宮里 正



高畑 信雄



山元 忠博



吉行 集



内村 利男



中西 重光



下沖 常一



馬渡 平男



大盛 益夫



(順序は議席番号によるものです)
この共同年賀は議員の出資により
作成したものです。

三股町の行政区別・年令男女別人口

人口18,827人・世帯数5,910戸

昭和60年10月1日実施された国勢調査の地方集計が
このほどまとまりました。
これは、皆様方から記入いただいた調査表に基づい
て集計したものです。
この調査の結果は、私たちの暮らしに密着したさま

ざまな問題について、国や県、町が実施する行財政施
策の重要な基礎資料として利用されます。
◎ この町人口等の数値は、町の集計によるものであ
り、後日、総務庁統計局が公表する数値とは、異なる
場合があります。()は聞き取り数で年齢不明。

地区	男女別	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	計	世帯数
		4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	89	以上		
第1地区	男	111	110	100	78	29	69	97	106	71	65	71	69	52	39	24	22	18	6	1	1,138	789
	女	90	106	87	71	66	105	102	106	68	81	81	81	68	57	51	37	23	15	3	1,298	
	計	201	216	187	149	95	174	199	212	139	146	152	150	120	96	75	59	41	21	4	2,436	
第2地区	男	61	92	80	78	46	62	69	75	68	67	83	98	69	51	45	26	15	3	2	1,090	701
	女	71	98	90	73	75	62	82	71	72	81	103	110	95	78	63	44	24	18	5	1,315	
	計	132	190	170	151	121	124	151	146	140	148	186	208	164	129	108	70	39	21	7	2,405	
第3地区	男	21	50	68	37	28	25	42	56	37	41	49	44	45	30	24	14	9	1	1	622	419
	女	30	57	53	42	22	24	43	40	52	51	47	58	47	60	29	25	11	7	4	702	
	計	51	107	121	79	50	49	85	96	89	92	96	102	92	90	53	39	20	8	5	1,324	
第4地区	男	24	49	53	36	26	22	34	51	56	65	71	61	39	45	35	25	16	6	6	720	417
	女	19	42	60	38	31	30	35	44	40	49	56	44	61	54	54	37	22	16	7	739	
	計	43	91	113	74	57	52	69	95	96	114	127	105	100	99	89	62	38	22	13	1,459	
第5地区	男	12	21	20	29	14	19	28	29	15	23	36	53	38	30	25	18	6	6	2	424	330
	女	23	21	22	19	19	24	26	16	21	30	58	46	59	34	37	23	11	8	5	502	
	計	35	42	42	48	33	43	54	45	36	53	94	99	97	64	62	41	17	14	7	926	
第6地区	男	105	152	144	95	46	99	100	126	97	111	93	97	70	61	49	33	17	9	3	1,507	983
	女	88	112	119	96	67	93	105	126	108	109	120	96	97	87	60	48	30	11	3	1,575	
	計	193	264	263	191	113	192	205	252	205	220	213	193	167	148	109	81	47	20	6	3,082	
第7地区	男	141	129	141	96	53	108	135	146	104	92	83	84	64	50	32	15	12	6	1	1,492	1,016
	女	156	140	132	90	79	129	143	145	99	90	97	88	96	59	49	27	27	15	6	1,667	
	計	297	269	273	186	132	237	278	291	203	182	180	172	160	109	81	42	39	21	7	3,159	
第8地区	男	127	116	97	46	38	79	129	107	67	53	52	46	26	25	11	6	6	1	1	1,035	685
	女	113	114	105	73	64	123	131	100	68	53	66	38	32	28	24	15	10	4	2	1,163	
	計	240	230	202	119	102	202	260	207	135	106	118	84	58	53	35	21	16	5	3	2,198	
第9地区	男	87	79	86	111	21	51	82	102	68	50	38	44	32	22	22	7	1	1	0	906	570
	女	66	77	106	62	39	67	85	90	69	43	40	57	45	30	26	11	10	6	1	932	
	計	153	156	192	173	60	118	167	192	137	93	78	101	77	52	48	18	11	7	1	1,838	
計	男	689	798	789	606	301	534	716	798	583	567	576	596	435	353	267	166	100	39	17	8,934	5,910
	女	656	767	774	564	462	657	752	738	597	587	668	618	600	487	393	267	168	100	36	9,893	
	計	1,345	1,565	1,563	1,170	763	1,191	1,468	1,536	1,180	1,154	1,244	1,214	1,035	840	660	433	268	139	53	18,827	

あなたの心を伝えよう

「はたちの献血」キャンペーン

今年で第十回を迎える「はたちの献血」キャンペーン。(社)日本民間放送連盟(民放連)主催ではたちの人を中心に献血の輪を拡げるイベントです。ラジオとジヨ

イントし、地域社会での献血運動が一月十三日から三月十三日まで繰り広げられ



明るい選挙をめざして一問一答

「後援団体に関する寄付の禁止」について

① 「〇〇後援会」や「〇〇を励ます会」などの、後援会団体に関する寄付の禁止とはどういことですか？

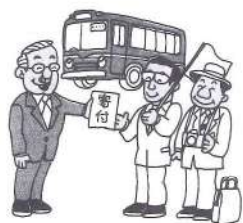
② 特定の候補者等を支持する後援団体に関する寄付の制限には、次の三つの場合があります。

① 後援団体は、一定期間、その選挙区内の者に対し、選挙にかかわらず寄付することができません。ただし政治団体、又はその公職の候補者等に対してする寄付は認められています。

② なにげとも、後援団体の総会、集会又は、後援団体が行う見学、旅行、その他の行事においては、一定期間その選挙区内の者に対し、選挙にか

③ 公職の候補者等は、一定期間、自己の後援団体に対して寄付をすることができません。ただし、自己の指定団体に対してする寄付は認められています。

かわらず賛応、接待(通常用いられる程度の食事の提供を除く)又は、お金、記念品などの物品を供与することは、禁止されています。



団体旅行の寄付や差し入れ

図書館だよの(第五号)

一、小学校五年生のみなさんへ

三股小 五年 堀内 真由美

こんにちは、みなさん。私が今までに読んだ本のなかで、一番心に残っているのは、「十二歳の合言葉」という本です。

その本の内容は、三人の仲よしグループがあり、三人の仲が途中でくずれたりしながらも、心の中で今でもよりも相手の気持ちがよくわかり、前よりも仲よくなっていくお話です。

あるとき、三人の中の一人が、ほかの二人の友達が通う中学ではなく、名の知れた有名な中学に行くことになりました。それを知った二人がとらもきずまず、最後には家を出してしまいます。

私は、「どうするんだらう」と、むねがわくわくしました。二人の両親がむかえに行つて、泣きながら自分の子どもを連れもどすところに私は心を打たれました。その本を読み終わった時、ほんとうによい本だと思つて思いました。

みなさんも、この本を読んだことがありますか。どうでしょう、読んでみませんか。

※ 三股町には、小学校五年生が三二八名います。前の文は堀内

さんからお友達へのメッセージです。長田・宮村・梶山・勝岡・三股各小学校のお友達みんなが読書仲間になりました。

二、中学生の読書は

二年 読書に親しむ態度を育てる
三年 読書を通して自己を豊かにする態度を育てる。

三年 読書を生活に役立てる態度を育てる

中学時代は、もの見方や考え方の幅が広がり、生きがい。人生観といったものに眼を開く夢と希望をもつていきます。

三、読書感想画

本を読んだあとに浮かんだイメージを絵にあらわしていただきました。



全国青年大会で、太郎踊り(郷土芸能の部)努力賞 スエーデンリレー(陸上の部)4位入賞に!

第三十四回県青年大会で見事優勝した、谷青年の太郎踊りもスエーデンリレーが、十一月八日から四日間、東京の青年会館と国立競技場で開かれた全国大会に出場しました。

大会には、郷土芸能の部に三十の団体から、また、スエーデンリレーには三十四チームが、それぞれ参加して、郷土の榮譽をかけて競技しました。県代表として出場した本町チームは、他県の強豪を相手に日頃の練習の成果を競い合い、太郎踊りが努力賞、スエーデンリレーが四位入賞という輝かしい成績をあげることができました。

尚、この大会出場に際しては、町をはじめ関係機関、後援会、町民の皆さん方の物心両面にわたる温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

今後は、大会の貴重な経験をもとに、より一層青年団活動に取り組みと話しておられました。

ここに大会の決算をお知らせいたします。

全国青年大会出場特別会計決算書

収 入			
科 目	予算額	決算額	説 明
町補助金	1,068,000	1,068,000	
寄付金	1,373,400	1,401,320	別 紙
町青年連協助成	90,000	90,000	1,000円×90人
個人負担金	242,000	242,000	11,000円×22人
計	2,773,400	2,801,320	

支 出			
科 目	予算額	決算額	説 明
県負担金	1,524,000	1,541,056	
消耗品費	15,000	9,120	楽代・ビデオテープ他代
印刷製本費	70,000	40,000	趣意書・解説書印刷代
大会準備費	430,000	397,894	郷土芸能・陸上準備代
食料費	350,000	346,800	栄養費・報告会雑費
交通費	200,000	124,980	バス代・タクシー代
燃料費	5,000	0	
通信費	5,000	4,000	切手代
予備費	174,400	0	
計	2,773,400	2,463,850	

収 入 支 出 残
2,801,320-2,463,850=337,470
上記のとおり相違ありません。

昭和60年12月7日
第34回全国青年大会出場三股町特別後援会
会長 桑畑 三 夫



太郎踊り



勝岡小波 6年 康 介

(二)子ども声を聞く会 (敬称略)

あんな人になりたい、こんな人になりたいなど、人それぞれによって目標は違うものだが、ぼく自身

僕の目標

身の目標は、「けじめのある人間」になることだ。

今、すぐなるわけでもないが、少しずつ努力して、目標に近づきたいと思っている。

僕が、この目標をたてた第一の理由は、時々友達から「もちっとけじめをつけんか」「ピシッとせんないかんよ」などと言われるからだ。僕も友達に対して、「あの人は慣かしい」とか「この人はバタベタする」など、言うことがあるが、他人が、僕のことをみると、けじめがないように見えるのではないかと思う。

また、目標をたてたもう一つの理由は、僕の父は、航空自衛隊に勤務していて、今、こしき島という所に、単身赴任している。

一ヶ月か、二ヶ月に一回ぐらいは、十日ばかり休みをとって帰ってくる。このまえ帰ってきた時も「康介、おまえは、けじめをつけないかん」「勉強をちゃんとしてから」「おまえが父さんの代わりだから、しつこいせんないかんよ」などと言われたからだ。

今、僕の家にとって、僕が、父の代わりなのだ。父という家の大黒柱の代わりなのだ、そのためにも、いいかげんな人間ではなく、僕にはけじめが必要だと思ったからだ。母も、働いているが、帰るところで、父の希望は牛の数を二百頭ぐらいに殖やすことです。毎日、夜おそくまで働いているのに、あと四十頭も殖やしたら、大変だと私は思っています。しかし私も動物は好きなので賛成しています。今も子牛に、クロ、モモタ、ユキなど、いろいろな名前をつけているので、新しい牛にも名前をつけてやろうと思います。ところで、私がこんな父の仕事をつこうと思ったのは、五年生のころからです。

父母は、朝早くから夜おそくまで、一生懸命働いています。でも、四年生ころまでは、父母に対して、いろいろの不満をいだいていました。例えば、夕食が遅くなったたり、日曜日も祭日も、どこにもつれていってもらえなかったからです。それに畜産は、めんどろな仕事ばかりだと思っていたからです。そんな時、いつか父が、私に、こんな話をしてくれました。

「お父さんはね、この牛たちのことを、ゆう子や広樹と同じくらい大切に思っている。だから、ゆう子たちや、この牛たちのために頑張らんといかん。私はこの言葉を聞いたとき、胸が熱くなる思いがしました。父にとつてこの牛たちは、生きがいなんだなあと思いました。この父の言葉は、一生忘

てくるときは、とても疲れたような顔をしている。それにもかかわらず、夕食をつくり、掃除をし、ほかいろいろの家事をし、夜おそく寝て、朝早く起き、というように、姉は、母を助けるために、自分でできる家事は、引き受けてやってくれている。だから、僕も負けないように頑張らなければいけないと思う。

「よくやっとなね」とか「ありがと」などというときの母の顔は、とてもうれしそうなのだ。そんな母の顔を見ると、僕もうれしくなり、母は、本当に助かったんだなあ、喜んでくれていたんだなあ、と思う。でも、「いやだ」「したくないからせん」とか言ったりすると、母は、とても悲しそうな顔をする。その顔を見ると、僕は、自分の都合だけで母に迷惑をかけていることに気づく、母に対して、本当にすまないと思う。そんな僕は、父の代りだぞ、といばることはまず無理だ。

けじめと言うことは、自分にきびしくすることだと思ふ。甘えていては、絶対できない。して良いこととして、してはならないことの違いをつけることがけじめをつけることだ。

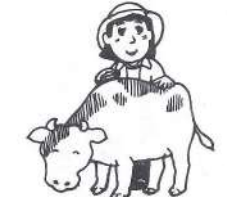
「いやだ」「せん」とかいつて



梶山小波 6年 小 波 子

私のなりたい職業

私の家は、今、子牛から成牛まで約百六十頭ぐらい飼っています。牛の中には、ホルスタインという種類の牛などもいます。しかし、これからの牛はずべて、肉をとるためのものでほとんどがオスの牛です。



三股A・Cが優勝

郡体協
駅伝大会

郡内を一周する「第四回郡駅伝競走大会」が、十二月八日高崎町三股町間、三十五キロで行われました。

レースには(一般九、オープン五)十四チームが参加。午前九時半高崎町駅前を一齐にスタート。郡内五町をリレーするコース六区間で戦いを展開。沿道では多くの駅伝ファンが選手の力走に声援を送っていました。

大会の成績は次のとおりでした。

一般の部 一位 二位 三位
 オープンの部 三股A 三股B 高崎町
 三股C 志和池A 山田B



町議会議員 故茨木重則氏 永眠される



町議会議員の茨木重則氏(六七歳)は、去る十一月三日呼吸窮迫

症候群のため、医師会病院で悲しくも永眠されました。

故茨木氏は、大正五年生まれ、昭和十五年三月青年学校教員養成所を卒業。以来教諭、教頭、校長として三十七年の長きにわたって、教職にたずさわられ生徒教育、教育研究の推進など、教育進展に大きく貢献されました。

一方、氏は昭和五十二年九月町議に初当選以来三期(七年)。その間、総務、経済の常任委員、文教厚生常任委員長として、町政の進展と住民福祉の向上に尽力されておられました。氏の安らかな御冥福を心からお祈り申し上げます。

19チームで健脚を競う

町青年連協が主催する第三十三回目の駅伝大会は、十二月一日好天に恵まれ、青年十、オープン九の十九チーム約二百名の参加によって健脚を競い合いました。

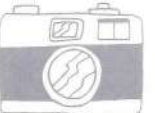
午前十時、役場前から号砲で一斉にスタート。町内を一周する二十三・二キロのコースを八区間(内二区間を女性)に分けてレースを展開。随所にデッドヒートがみられ、沿道につめかけた人々から声援が送られていました。

大会の結果は次のとおりです。

一位 二位 三位
 青年の部 榎原青年 夢池青年 宮村青年
 オープンの部 志和池 三股中C 三股中A



町の話題



町立病院 内科に松尾先生が 赴任

町立病院の内科医師として、松尾剛志氏(二十五歳)が十二月一日赴任されました。

松尾氏は、北九州市出身で昭和五十九年三月宮崎医科大学医学部を卒業後、同大学第一内科に入局。病巣の早期発見、早期治療の研究に専念されていた方です。

尚、これからも住民の健康管理と疾病の予防、治療にご活躍くださるようよろしくお願いたします。



町剣道連協が主催する第九回剣道練成大会は、十一月二十三日武

三股中が優勝 剣道練成大会

道体育館で開かれ、中学校の部で三股中が優勝しました。

大会には、町内をはじめ県内各地から、また、遠くは鹿児島、熊本県内などから小学五十五、中学五十七、高校十一、一般十五の百二十七チームが参加。試合は団体トナメント戦で開始。選手たちの鋭練された技に、訪れた父兄たちから盛んな拍手が送られています。

大会の成績は次のとおり。

(一位のみ) 男子 女子
 小学生の部 上長飯小A 祝吉小
 中学生の部 三股中 妻ヶ丘中
 高校生の部 都城商業B
 一般の部 都城白衛隊



お仕事ご苦労さまと園児が花束をプレゼント

さる十一月二十二日、みまた幼稚園児四十名が町長を訪れ、花束をプレゼントしました。

これは二十三日の勤労感謝の日にならみ、日ごろの労苦を労うと、園児たちが色紙で作った花束を贈ったもの。園児たちは「毎日のお仕事ご苦労さまです。体に気をつけて頑張ってください」と、あいさつ。町長は「花束をありがたう、これからも仕事に頑張ります。皆さんも風邪をひかないよう元気で過ごして下さい」と、お礼を述べました。

園児たちは、ほかに郵便局や銀行、派出所、バスの運転手さんなど



三股中吹奏楽部による第三回演奏会が、十一月二十三日三股小体育館で盛大に開かれました。

当校の吹奏楽部は、今年も県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し、これで四年連続の金賞受賞の榮譽に輝きました。

今回は、住民の方々に生の演奏を鑑賞していただき、町民文化の向上発展を図ろうと開いたもの。館内には、老幼男女が座るところもないほどつめかけ楽器からながれるメロディーにうっとり、演奏を心ゆくまで楽しみました。

熱演にうっとり

オイスカ産業開発協力団・西日本研修センターの海外研修生(農業)四名が、十二月五日、六日の二日日本町を訪れ、地元青年会員の意見交換、農畜産業の施設などを視察研修しました。

研修生は、開発途上諸国(フィリピン・パングラデシュ・スリランカ・ネパール)の将来を担う青年たちで、我が国の農業技術の研修に訪れているものです。

意見交換会は、五日中央公民館で青年会員約四十名と国の特徴、経済、農業形態などについて話し合い有意義な交換会となりました。

研修生は、上右治行さん(谷、方

海外研修生と意見交換



オイスカ海外研修生 迎

おしらせ



今月の主な行事

日 行事名 場所

- 十三日 町健康歩大会 中央公民館
- 十三日 高血圧予防 第一地区公民館
- 十四日 健康相談と栄養改善教室 第六地区公民館
- 十四日 消防出初式 三股小学校
- 十八日 リハビリ教室 老人福祉センター
- 二十日 健康相談と栄養改善教室 第七地区公民館
- 二十日 健康相談と栄養改善教室 第八地区公民館
- 二十一日 健康相談と栄養改善教室 中央公民館
- 二十二日 健康相談と栄養改善教室 中央公民館
- 二十五日 健康相談と栄養改善教室 中央公民館
- 二十四日 リハビリ教室 老人福祉センター
- 二十六日 健康相談と栄養改善教室 中央公民館
- 二十七日 育児教室 中央公民館
- 二十八日 健康相談と栄養改善教室 第九地区公民館

今月の納税 県町民税4期 保険税5期

2月は固定資産税
4期の納期です

所得税の確定申告は 正しく、お早めに

昭和六十年分の所得税の確定申告は二月十六日から始まり、申告期限は三月十五日ですが、期限間近になり、三月十五日で、期限間近になり、長時間お待ちいただくことになりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

また、申告書は「申告書の書きかた」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。詳しいことは、最寄りの税務署でお尋ねください。

都城税務署 三二、四三三七

しもやけの 予防と治療

しもやけは、子どもやお年寄り、手足の血液の調整がうまくいかない素因をもった人に行きやすいといわれます。しもやけの予防は、何よりも体全体の温度の調和をはかることです。手足は寒さに鈍感なので、かなり寒い日でもズック靴などで平気ということが多いもの。一方、体はコートなどで暖かく包むので全体でみると著しい温度

一般寄付

上石成久さん(倉二万円)
上石さんは、病気が全快したのちに社会福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、思

たらずご
つとへ
かど所
か分業
自営
電線の
がらの
電柱の
タコ
危険な
に、給電
23-3911

差が生じます。体の血管は広がっているのに手足の血管は縮み放しで血液の流れが悪くなった状態がしもやけを起す要因となります。したがって、しもやけの予防、治療は、一にも二にも保温に注ぐることです。できてしまったものの治療法としては、マッサージをする、お風呂で暖まって血行をよくするなどがありますが、もっとも効果的なのは、その部分を包帯でまくことです。

三股町の人口

昭和60年12月1日現在

人口18,892人 出生22人
男 8,977人 死亡12人
女 9,915人 転入75人
転出43人

世帯数 5,935戸

前月比+42人

明寄付を次の通りいただきました。
故人の冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。昭和六十一年十一月十七日から昭和六十一年十二月二十日まで

寄付者 続柄 放人名 地区 金額
今村 正(母別稱) ミツ子 田上一万円
原村 明(父) 小島 上二万円
大村 スマ(夫) 安男 上米 三万円
中村 明(息子) 明浩 田上 二万円
木下 ミヅ子(夫) 正則 中米 一万円
小畑 武義(妻) ナミ子 勝岡 一万円
出水 テツノ(夫) 栄助 谷 三万円
二宮 ヨネ(夫) 利善 山王原 三万円
橋口 梓(夫) 宗平 蓼池 一万円
上西 義雄(妻) シズ子 上米 二万円
池田 フクエ(夫) 重廣 勝岡 一万円
木村 シヅエ(義父) 秀尾 前目 二万円
福元 ユキ(夫) 一夫 仲町 五万円
大峰 スミエ(夫) 静次 小次幸 一万円